



「ぴるる」PLL352シリーズ カタログ

(2010年4月発売、改定C)

「ぴるる」は、スタンドアロンですぐ使える、お手軽PLLシンセサイザ・モジュールです。(写真はシングル出力) PLL352シリーズでは、外部同期切替用手動スイッチが付き、内蔵VC-TCXOも10MHzになりました。液晶表示器付きで最小ステップ=100Hzの「_R5+」モデル、最小ステップ=10kHzの「_R7+」モデル、液晶表示器無しで最小ステップ=100Hzの「_R5」モデル、最小ステップ=10kHzの「_R7」モデルの4種類

特長

137.5MHz ~ 4400MHzを最小100Hzまたは最小10kHzステップでカバー。(2200MHz未満は分周波) ADI社のLSI(ADF4350)を使用。外部同期入力ポート、VC-TCXOも搭載。(高安定周波数、トリマ付き) 付属ロータリー・エンコーダで快適操作。(バンド境界を意識不要のシームレス) 10チャンネル・メモリ(各チャンネルの周波数と桁位置、出力レベルを記憶)、チャンネル・レジューム。優れた低位相ノイズ/ジッタ特性。(高調波はありますが、外部LPFでカット可能) 出力レベルは5段階。(ADF4350仕様の4段階とMute)(注:標準はシングル出力で、差動出力の-3dB) ロックまたはアンロック表示あり。(LEDおよび液晶にて表示)、同期切替表示あり。(内部同期表示LED) バックライト付き液晶表示器(SC1602互換)とぴったりのコンパクトサイズ。シンプル設計。(制御にはPIC16F690-I/Pを使用、ソケット付きなのでファームウェアもアップデート可) ADF4350の評価用としても安価。組み込み用途にも。(液晶表示器を外しても動作に支障ありません) 金属ケースに組み付けるなら、簡易信号発生器の出来上がり。外部同期入力次第で超高精度も実現。オン・ボードの操作用押しボタン・スイッチ(5個)はコネクタ:CN1から引き出せます。エンコーダを外しても、オン・ボードのスイッチだけでも操作可能です。

仕様

型式: PLL352(_R5, _R5+, _R7, _R7+)の4種類、差動出力オプションもあり。
 動作環境: 0 ~ 40 °C、20 ~ 80% Rh
 電源: DC5V ± 5%、約0.25A (USBケーブルまたはコネクタ:CN1から供給)
 重量: 本体約70g(液晶表示器:TC1602E-13T を含む)
 外形寸法: 本体100W × 30H × 25D [mm] (SMAジャックやスライドスイッチの突起部を除く)
 取付けネジ: 液晶表示面側のみM3 × 4箇所、深さ4mm(ほかはM2.6)
 外部同期入力ポート: 50 Ω、直角形SMAジャック、10MHz、3.3Vpp_max(+10 ~ 0dBmの正弦波を推奨)
 出力ポート: 50 Ω、SMAジャック、標準はシングル出力(差動出力への改造も可能)
 基本波出力周波数: 2200.0000MHz ~ 4400.0000MHz(100Hzまたは10kHz ~ 1GHzステップ)
 分周波出力周波数: 137.5000 MHz ~ 2199.99** MHz(100Hzまたは10kHz ~ 1GHzステップ)
 内蔵基準発振器: 10MHz、± 2.5ppm(-30 ~ 75 °C)、± 1ppm / 年max.(@25 ± 3 °C)
 コネクタ(CN1): 基板側= B7B-XH-A、ハウジング= XHP-7(日圧)
 付属エンコーダ: EC16B相当品(24パルス/回転)
 付属電源ケーブル: USB A-ミニB、長さ1.5m(USB_I/Fチップは未実装、ファームウェアは実装済み)

製造・販売: (有)電子研 Fax: 075-842-0773 〒602-8155京都市上京区主税町1143
 最新版はこちらで <http://web.kyoto-inet.or.jp/people/kadoh/denshiken/> 2010CAT002C